

令和6年度第1回岩手県後期高齢者医療広域連合運営協議会 要旨

- 1 開催日時 令和7年2月3日（月）午後1時32分から午後2時31分
- 2 開催場所 岩手県自治会館4階第5会議室（Web会議併用）
- 3 出席委員 対面参加：高橋（陽）委員、村上委員、小枝指委員、高橋（勝）委員、木村委員
Web参加：齊藤委員、山本委員、岡田委員、押切委員、高橋（聡）委員、
野原委員（代理：日向氏）
- 4 欠席委員 瀬川委員
- 5 傍聴者 なし
- 6 会議の概要

(1) 説明・協議

会長の高橋（聡）委員の進行により、次の事項について、事務局から説明・協議を行った。

- ア 後期高齢者医療制度の動向等について
- イ 後期高齢者医療広域連合の運営状況について
- ウ 岩手県後期高齢者医療広域連合規約の変更及び第4次広域計画の一部改定について

(2) 主な意見・質疑等

(委員)

一人当たり医療費が低い地域が県北に多いが、その要因は。

(事務局)

病院までの交通機関が少ない、医療機関自体の数が少ないなどの環境的な要因が強いと考えられる。

(委員)

健康診査受診率は低いが一人当たり医療費が高い地域があるが、この理由は何か。

(事務局)

公立医療が充実している地域であり、健康診査の前に病院で医療を受ける場合が多いからと思われる。

(委員)

今後病院の閉院なども増え、半径5km以内に医者がいない「無医地区」が増加していくと考えられる。現状は非常に厳しい状況であり、ありきたりな課題ではなく違った視点を持ってとらえていただきたいがいかがか。

(事務局)

医療を受けたい人が受けられない、という状況は何としても避けたいものである。医師・看護師不足の状況を踏まえ、専門的な見地からも含めて課題をより具体化し、議論の場に上げられるようにできればよい。

(委員)

重複・多剤投薬者について問題視している。これを取り締まる機関があればありがたいし、全国的なものなので制度改正も必要かと思うが、今後大きな問題となってくるだろうことを意見として述べる。